

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

事業所	おおぞらひまわり保育園
報告書作成日	平成30年3月13日（評価に要した期間 約6か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

評価方法

自己評価 （実施期間：平成29年10月23日 ～11月22日）	職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果を職員全員で検討、話し合いの後、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施日：平成29年12月13日、15日）	評価調査員（2名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任、保育士、看護師、調理士）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当、幼児担当、調理担当者等の3グループ別に実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：平成29年11月8日 ～11月22日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し、無記名にて記入していただき、回収箱にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：平成29年12月13日、15日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。

評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅰ－1 保育方針 の共通理解と保育 課程等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念に「子供に人権と働く人々の最善の利益」を掲げ、保育目標の中にも「健康な子ども」「自己主張・表現のできる子ども」「粘り強い子ども」「思いやり、協力できる子ども」など、子どもを尊重した内容が掲げられています。これを受け、保育課程や指導計画の中にも、お迎えの遅い子には「長時間保育」と「夕食」の提供を、病気の子供には「病児保育」の環境を整えるなど、子どもが安心して生活を送り、子どもらしく育つように、子どもの気持ちに寄り添う姿勢が表れています。 ・保育課程の冒頭に保育理念、保育目標などがしっかりと記述され、子どもの最善の利益を第一義に作成されています。出来るだけ多くの子どもを受け入れて欲しいという地域の要望や一時保育や相談などのニーズ、更には実習生やインターンシップの受け入れなど幅広い交流・支援を実施し、立地環境や地域の特色を十分に反映した内容になっています。 ・指導計画は保育課程に基づき、各年齢ごと作成しています。 ・作成にあたっては、日頃の子どもの態度・表情、活動、会話や、各種行事の取り組みの中で要求や気持ちを知る努力をしています。特にトラブルが生じた時などは双方の思いを聞き伝えあい解決の糸口を援助することにより、子どもの気持ちや要求を把握する機会と認識しています。日々の出来事も学びの機会とし、些細なことでも子どもの思いを大切にしながら保育計画に反映しています。

<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 入園前に個別面談を実施し、園の状況を伝え、家庭の事情を把握すると共に子どもについても観察し概略の発達状況を把握しています。 入園直後に提出された児童票や健康台帳をもとに詳細な面談やクラス懇談会、住居確認の機会等を持ち、生育歴や保護者の思い、家庭状況などを職員が複数で確認しその後の保育に活かしています。 アレルギー児、障害児や要配慮児に対しては事前に担任などと面談を行い、療育センターなどと連携を取りながら対応しています。 新入園児の受け入れにあたっては、子どもの一日の生活の流れや状況が、双方で確認できるよう報告し合い、子どもが安心できる人や物への依存がある場合は、その姿を認め「安心、時には楽しい」を一番に置き、「ならし保育」は最小限にしています。家庭で使っていたタオルや人形などの持ち込みを認め、子どもの気持ちを尊重しています。 園での様子を保護者全員に個別の連絡ノート等により伝えています。 子どもの発達や状況を複数の保育士が個別に把握し、反省も含め評価し「指導計画」を作成しています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 園舎内外の清掃については、清掃マニュアルに基づき、各部屋にチェック表により実施され、清潔な状態が保たれています。 各部屋にはエアコン、空気清浄機が設置され、23～26℃の適温、適湿が保たれています。 大人の声や動きも子どもにとっての「人的環境」と捉え、否定語を使用しない、騒音にならないように注意しています。 ベランダに温水シャワーがあり、0歳児の沐浴設備、1歳児以上の浴室設備を完備しています。汗や汚れを落とし清潔に保つことはもちろん、暑い日の水浴び、寒い日の温浴等、精神解放の観点も大切にしています。 0歳児室は独立した室になっており相應しい静かな環境が保たれています。1歳児以上の部屋は間仕切りにより区切られています。園舎内のスペースを少しでも広く使うため、2箇所のロフトを設け、また、園庭には「子供の家」と称する小屋があります。これらを総合的にやり繰りし、さらには必要に応じ間仕切りを開放して大部屋とし、年齢を超えて自由に行き来するなど、スペースの確保については創意工夫、柔軟に対応しています。 大小2つの「多目的室」を食堂や遊戯室等にも活用しています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画は全員個別に作成しています。 一人ひとりの発達状況や体調、家庭環境等の変化からくる心の動揺などを、日々複数の保育士で把握、確認し合い、必要な素早い支援や対応を怠らず、指導計画づくりに反映しています。 子どもの発達状況や体調等に変化があった時は柔軟に変更・見直しを行っています。必要に応じ保護者にも説明しています。 入園前の子供の状況や生育歴、保護者の思いは「児童票」で把握しています。入園後の成長過程は日々の連絡ノートに保護者と双方で記録し合い、学期毎に「個人記録票」に記録し、全職員や保護者が確認しています。進級時の引継ぎとしても活用しています。 就学時には「児童保育要録」に児童の状況、様子を記録し就学先に持参し、必要によっては小学校の担当の先生と直接面談を行い、丁寧な指導を依頼しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特に配慮を必要子供のへの対応については個人面談でしっかり状況を把握し、職員会議で定期的に話し合い、検討しています。「月間指導計画」の個人記録欄や「個人面談報告書」等をファイリングし、重要な情報は全体で確認したり、報告し、共有し、協力し合って職員全体で見えています。

どもへの取り組み



- 会議記録や資料は事務室の鍵のかかる書棚に保管していますが、職員が必要な時にはいつでも見ることができます
- 障害を持っている子どもについては、療育センターなどの専門機関と連携し、保育を行っています。どの子どもみな平等で、障害も発達の違いも個性や特徴として捉え、仲間と一緒に楽しく生活できるように配慮しています。その子の成長段階にあったクラスに入れて、必要によって専門職員をつけたり、全体で成長を確認し合って楽しく生活していく力をつけています。最終学年になった時、同じ年齢のクラスに進級し、同じ「仲間」として巣立っています。
- 虐待については、横浜市の指針やハンドブックなどを常に閲覧できる場所に保管し、全職員がその主旨、内容について認識しています。痣や打ち身など体の状態を毎日確認し、小さな変化も見逃さないようにし、小さな気付でも報告し合うと共に、見えない心の痛みや辛さを理解し、寄りそうようにしています。
- 面談等で保護者の悩みにも丁寧に耳を傾け、辛さを緩和できるように配慮することに心掛けています。園の保育指導者（カウンセラー）による学習及び小児療育センターの専門家に来園して頂き、状況確認をし、助言や指導を受けています。
- アレルギー対応は必ず受診し、医師の「指示書」のもとに選択食や除去食としてその子に合った給食を提供し、環境改善や皮膚のケアを行っています。誤飲・誤食が起きないように、別トレイで別棚から担当保育士に直接手渡ししています。保育室では、座席を離し、そばに職員が1人必ずつくように配慮しています。
- アレルギーに対する学習・研修は、最新の医療情報などを確認し対応できるよう、毎年行政や民間が行う研修会に担当者が参加しています。
- 外国籍、帰国子女の保育においては、初めのうちは会話がスムーズでなく戸惑いもありましたが、朝夕の送迎等を重ねる中でアイコンタクトなど地道な努力により、時間をかけ、意思の疎通が図れるように努めています。食事の好みの違いについては、家族に喫食状況をありのままに伝えて、家庭と連携しつつ、フォローして頂くことにより時間をかけ徐々に解決を図っています。人種によって肌や髪、瞳の色の違いや異なる生活習慣があることを、他児にも実際に絵本などを通して伝えていきます。

I-6 苦情解決

体制



- 園に対する要望や意見についてはいつでも申し述べられるシステムが出来ており、入園のしおりにも記載し、「苦情処理委員会」「第三者委員会」、「保育をより良くする会」の紹介や解決の仕組みなどを文書で説明・通知しています。
- 日常的に話し合える関係を大切に、行事毎にも「アンケート」をとり、意見を吸い上げ、活かしています。些細な苦情や要望でも個人で対応せずにクラス及び全体、園長などを交えて解決しています。
- 要望や苦情について、軽易なものは受けた職員がその場で対応し、園として検討すべき事項に関してはすみやかに直近のミーティング等に諮り、外部機関と調整するべき事項については連携して対応するようにしています。
- 些細な苦情でも受けとめ、話し合い丁寧に対応し、解決しています。それらの苦情やトラブル等は記録し「苦情対応処理報告書」としてまとめ、全職員に周知して教訓とし、日々の保育に活かしています。
- 保護者の要望は日々の送り迎え時や行事ごとのアンケート等で把握し、日常の保育や次年度の指導計画に反映させていきます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容</p> <p>[遊び]</p> 	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが伸び伸びと自由に遊べる環境として、保育室をフリーにし、「多目的室（大、小）」「ロフト2箇所」「全クラスがつながるベランダ」など自由に行き来できるスペースを設けています。 教材等の棚の高さや並べ方も子ども達が自由に扱えるように考慮されて、定期的に見直したり、遊びの状況に合わせて子どもの興味に添って考えています。遊具・玩具は子どもの年齢や発達に合わせて共にクラスからの要望を受けて、種類、量、質などを考えて揃えています。 園庭は広く、大半は傾斜地になっていますが、その特性を活かし、すべり台をはじめバラエティーに富んだ多くの施設や遊具が展開されています。「子どもの家」や「とりで」「きじ山トンネル」等いたずら心をくすぐる施設も設置され、水、土、砂にこだわり、その中で、自由に遊びまわり、子どもたちの関心と創造性が広がるよう心がけていることが強く感じられます。 指導計画の作成にあたっては、みんなで行うことの楽しさや意欲を引き出せるような活動を大切にしています。子どもの遊びは自由な発想を取り入れ、興味の違いや、やりたくない気持ちも否定や無理強いせずに子どもの発見したものや興味をもっているものを大切にしながら、不足しているものは充足するよう努力しています。 子ども一人ひとりの遊びを重視しながらも集団活動とのバランスも考慮しています。なわとびなどを通して遊びの中にもルールがあり、順番があることを学び、運動会などの行事を通じ、集団活動について理解するようにしています。遊びを見つけれない子どもに対しては、保育士が自然な形でさそい掛けをするなど、ことばを掛けています。 周辺には農地があり、1年を通し作物の栽培、収穫を目の前で見つつ日々の生活を送っています。園外や農道散歩では地域の方々と笑顔で会話を交わしたり、農作物やメダカ、昆虫、草花の育つ様子を見聞きして自然に対する興味も芽生えています。蒔、ふきのとう、トマト、しそ、梅、柿、キュウリや大根、人参、南瓜芋などといった四季折々の草花や作物を摘んだり頂いて帰り、クッキングしたり作物への興味を深めています。 園内では、金魚や昆虫などを飼育していますが、金魚についても当初は1匹だったのが、1匹では可哀そうだという子どもの発案と子ども自らのプレゼントでもう1匹飼うなど、生き物に対する慈しみの心も育まれています。 子どもが自分の気持ちを自由に表現できるように、年齢に応じた文具や楽器を手の届く所に置き、使いたいときに使えるよう配慮しています。子どもたちが作った作品は保育室や廊下などに展示し、製作意欲の高揚や創造力の向上を図っています。 音楽に合わせて歌ったり踊ったり、幼児組になると、みんなで和太鼓を打ち鳴らす喜びも体験しています。 子どもの行動には必ず理由があることを念頭において、子どもの思いを聞き、どう折り合いをつけていくのかを基本として対応し、否定語を使わないように努めています。 異年齢保育については、日常保育の中で、子どもの要求や興味などで年齢枠を超えた自由な行き来を保障し、一緒に散歩に出かけたり、リズム運動をともにし、教え合ったり、いたわりや憧れの気持ちを養っています。 喧嘩が起こった時は、まずは見守ることにしています。子ども同士で解決でき

そうにない時は、保育士がお互いの思いを聴き、相手の主張を整理し伝えることで解決に向かえるよう丁寧に対応しています。喧嘩の後もその子どもたちの様子を引き続き見守りわだかまりが残らないように注意しています。

- 子どもたちの健康増進のため、園庭の施設・遊具は自然環境を最大限活かしています。長い斜面のある庭やアスレチック、井戸水の出るピオトープなど自然豊かな園庭で全身を使っでの活動や自由遊びができ、思い切り身体を動かして遊ぶことができます。雨天でも子どもの状況によっては雨具を利用したり、斜面での遊びなど、季節や天候の変化を肌で感じさせています。
- 保育士も子供を見守りながら一緒に遊び、また、保育士間での連携も図り、安全には細心の注意を払っています。木陰、シート、テント等を活用して紫外線対策も実行しています。
- 散歩、遠足も、年長児になると登山合宿、江ノ島往復ウォーキングなど発達段階に応じて仲間と励まし合って挑戦する行事も大切に取り入れています。

Ⅱ - 1 保育内容

[生活]



[生活]

- 食事を豊かに楽しむため、各クラスごとテーブルと椅子を並べて、5～6人のグループを作って楽しく会話しながら食べています。保育士は子どもの好みや食べる量などを把握していて、それぞれの子どものペースを尊重しています。食が進まない子どもに対しても無理強いせず優しく声を掛けていました。
- 4,5歳児になると自分で盛り付けたり、楽しく自分の意思で意欲的に食べることを重視しています。子ども達一人ひとりのペースを大切に、子ども自身で決められるように配慮しています。
- 赤緑黄の栄養価や食事の大切さも折に触れて話をし、栄養について関心を持ち、3大要素などについても易しく、わかりやすく教えています。
- 食事には各クラスの保育室と多目的室を使用し、できるだけ広いスペースの確保に努めています。食事が終わった後に部屋を掃除し区切りをつけて午睡の準備にかかっています。
- 食材は出来るだけ無農薬、無添加の旬のものを使い、季節や行事に合わせた特別メニューなども工夫し、みんなで楽しく食べることを大切にしています。直接口にする食器は消毒、衛生にも安全な陶器を利用しています。
- メニューの作成は、栄養士が起案し調理士、園長、看護師、保育士が意見を加え、最終決定を行います。
- 栄養士、調理担当者は各保育室を回り子どもの喫食状況を把握し、給食日誌も確認して献立作成や調理方法、盛り付け方法などの工夫・改善に反映させています。
- 子どもたちも給食室を訪れ、「今日は何?」「おいしかった」「どうやって作るの?」など気軽に話しかけ、風通しも良い様子がうかがわれました。
- 毎月末に次月の献立表と食育に関するおたよりを保護者に配布し、折々に情報や食事の大切さをお知らせしています。陳列ケースにその日の実際のメニューを案内し、食事への関心を促しています。
- 午睡、休憩はその子自身の「安心」のタイミングや環境を大切に、良い眠りを保障しています。0～2歳児については睡眠中の状態を5～10分毎に確認し、睡眠チェック表をつけ睡眠管理を行っています。
- 排泄については、0～2歳児はトイレが特別な場所ではなく、大人の目の届く安心な場所になるよう室内に工夫し、一人ひとりの発達やタイミングを重視して、無理なく援助しています。
- 一人ひとりの排泄のタイミングに配慮し、必要によっては「おしっこ?」などの言葉掛けや援助は行いますが、失敗した時に否定したり、叱ったりはしないようにして、後始末は、子どもの人権に配慮し、他の子どもにわからないよう言葉掛けにも注意しています。保護者と同じ思いで対応できるよう意見交換を

	重視しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に関するマニュアルを作成し、それに基づいて実施されています。健康台帳を参照し、一人ひとりの健康状態を把握し、保育士と看護師が日々「健康チェック」を行い、対応を確認しています。 ・体調が悪くなかった子どもについて連絡帳や口頭で保護者に伝え、必要に応じて受診を勧めています。 ・健康台帳等のファイルは事務室に保管され 職員は必要な時にいつでも見られますが、個人情報として厳正に管理されています。 ・健康診断は、年に2回嘱託の小児科医によって実施され、結果は一人ひとりの健康台帳に記録し、保護者にも伝えていきます。歯科健診は毎年歯科医師及び歯科衛生士に依頼し、歯や口腔内の状態のチェックを行っています。いずれの場合も必要に応じ専門医の受診を勧め、処置を行っています。 ・感染症の対応は、マニュアルを作成し、症状、潜伏期間、登園停止期間などを記載し、全体で共有し、それに基づいて対応しています。 ・保護者に対しては、入園のしおりで対応を説明していますが、繰り返し「感染症だより」「保健だより」等を配布し、症状のポイントやケアの仕方などの意識を高めています。 ・保育中に感染症が疑われる場合は、直ちに保護者に連絡するとともに、安静にして待てるようにしています。 ・感染症罹患状況は、その都度掲示して全体で共有しています ・研修参加は最新情報を確認できるよう行政及び民間が行う看護師会及び学習会に積極的に参加し学習しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>[衛生管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育室やトイレなどの施設の清掃はマニュアルに基づいて確実に実施し、清潔な状況が保たれています。 ・マニュアルは毎年定期的に見直しを行い、適切な対応ができるようになっていきます。 ・日々の清掃に加え、マニュアルに基づいて感染症別に消毒液を変え、玩具、床、壁、取っ手などの消毒を看護師の指導のもと、丁寧に行っています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震をはじめ、風水害、火災など、複数の災害を想定し、マニュアルを作成し、対応要領を定めています。脅威が大きい地震に対しては、備品の落下、設備の転倒などに対して固定や縛着などの安全対策が講じられています。 ・発災に対しては、緊急連絡手段として一斉メール通信網を整備していますが、不通に備えNTTの災害伝言ダイヤルの使用も併せて考慮し、年1回体験的に訓練が実施されています。 ・AEDの区及び民間の講習に参加すると共に、消防署の講師を呼んで指導を受け、緊急時に備えています。 ・事故や怪我に備え、保護者や救急機関、町内会長、隣接企業などに対する連絡手段が一覧表として整備されています。発生時は必ず複数で対応処置し、保護者には発生直後に連絡を入れています。 ・「事故・怪我の報告書」を速やかに記入し、安全管理担当者及び全職員に連絡し、事態を共有する仕組みができています。再発防止のため、全員での対応の振り返りや、ヒアリハットの作成なども行っています。 ・外部からの侵入防止のため、出入り口の扉に「番号錠」を取り付け、その都度

	<p>施錠しています。防犯灯や防犯カメラが塀や柵沿いに設置されています。非常通報装置「学校110番」を設置し、警察にすみやかに通報できるシステムができています。地元警察に見回り情報などの提供を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の方々との連携のため、地域の会議などは園で実施するようにお願いしています。
<p>Ⅱ－3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの主体性を尊重し、子ども一人ひとりのペースを大切にし、子どもの表情や言動などによって思いを読みとり、喜びも辛さも共感できるような言葉かけや対応に努めています。 • 子どものプライバシーをまもるため、限られたスペースの中にも多目的室（大、小）、ロフト2箇所、ベランダ、病児室、応対室、子どもの家などを設置し、状態に応じて使い分けしています。 • 職員が「ガイドライン」を確認し、守秘義務の意識を高めています。 • 性差の特徴は認識した上で、いたわり合う精神を大切にしています。性差や一人ひとりの違いによって差別したり固定概念で分別しないようにしています。
<p>Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どものことを第一に考え、日々、子どもにやさしく寄り添った保育が行われているため、保護者からは非常に高い評価と信頼を得ています。良好な関係がしっかり築かれています。 • 保育の方針や理念については入園前に「園のしおり」に基づいて保護者に対してよく説明しています。入園後も毎月の「園だより」「各種行事及びたより」や行事等実施後に「アンケート」「クラスだより」を配布して、繰り返し思いが理解されるよう努めています。 • 年間計画に「クラス懇談会」「個人面談」を計画し、実施しています。その他の機会でも希望や要望によって、いつでも「個別面談」を行っています。また、日常的な対話や「あゆみノート」で情報交換を行うことにより、意思の疎通、連携の強化を図っています。 • 保護者の相談には「応対室」を設置し、子どもや他人から離れて話ができるようにしています。内容によって職員を加配したり、専門機関に相談するなどして継続的にフォローできるようにしています。 • 日々の出来事は「あゆみノート」や掲示物、会話等で知らせ、クラス懇談会などで現況の情報交換をしています。子ども達が自然な姿でいられるように配慮しながら、主な行事の際にはビデオや写真撮影、その他の日常の保育ではスナップ写真等で記録し、様子を伝えています。 • 「年間行事予定表」を年度初めに配布し、勤務の調整を計ってもらいながら父母参加の行事には積極的に参加の呼びかけを行っています。 • 父母の会は年度ごとに全保護者から希望を集め、担当を決めて全員参加の父母の自主的組織として交流し合い、支え合っています。運営委員会では父母の思いを伝えてもらったり、園からの状況報告や要望などを交流し、信頼関係を作っていく機会としています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一回（４月～５月にかけて）地元の町内会（汲沢町内会）の集まりを当園で開催しています。地元住民との交流を通じて、健康確認や地域の安全および要望や課題等、地域の子育て支援ニーズの把握に努めています。必要に応じて連合町内会や自治体に対して要請を行うなど現状の改善に努めています。 ・地域の子育て支援ニーズについて当園の専門性を活かしたサービスを提供するため、定期的に職員間で話し合いを行っています。一時保育、交流保育（４～５歳児を中心に他園の子どもたちと年３回程度）、園庭開放（随時）等を提供しています。 ・緊急一時保育の要請があった時は、要請の内容をよく把握し、可能な限り要請に応えられるよう努力しています。また、地域住民と共に子育てや保育に関する講習・研修会を開催しています。更に、研修会やお祭り等への参加の要望がある場合には柔軟に受け入れるようにしています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談については、必要が生じたときにはいつでも臨機応変に相談に対応しています。 ・相談内容の実態をよく理解し、必要な関係機関と連携して課題の改善に向けて努力しています。 主な連携機関として、戸塚区こども家庭支援課・小児療育センター・児童相談所などがあり、リストアップしその情報を職員が共有しています。 ・地域新聞「おもちゃ箱」を折々に地域住民に配布して情報提供に努めています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会の集まりを当園で行い、交流を通して地域の皆さんの健康、安全の促進に資するとともに、助け合いや、連合町内会や自治体への要請を行うなど、相互理解や関係改善に努めています。 ・小中高等学校などからの依頼による訪問を積極的に受け入れ、保育園に対する理解促進に努めています。中高生に対しては職業体験として受け入れを実施しています。なお、高校生については８月に１週間程度のインターンシップを実施しています。また、地域住民に園の施設開放や備品等の貸し出しを行っています。 ・地元のお祭りに当園の園児が出演してお祭りを盛り上げたりしています。 ・５歳児が近隣エリアの保育園児と年３回程の交流を行っています。また、バザーやハロウィン等の行事で地域の人達との交流を図っています。

<p>IV-2 サービス 内容等に関する情 報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の人達に当園での震災バザーの取り組みに協力してもらい、被災地にお米を届ける活動を継続しています。資金はバザーや個人のカンパにより集め、お米は無農薬のお米を山形から仕入れています。 • 一人ひとりの都合を伺い、園長自らが個別に丁寧に説明し、質問にもきちんと対応しています。 • 見学は可能なかぎり見学希望者の都合に合わせてオープンに常時対応しています。
<p>IV-3 ボランテ ィア・実習の受け入 れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 職業体験やインターンシップ等の受け入れにあたっては、あらかじめ職員に当園の基本的考え方・方針、利用者への配慮等を十分に説明しています。 • 職業体験やボランティア受け入れ時には反省会を行い、感想を聞き、可能な限り園の運営に反映させています。 • 保育学生の受入れを積極的に行い、実習にあたっては日々の記録をきちんと行うとともに、実習生と職員との意見交換を行い、実習生の就労意欲が湧き実習目的が達成できるよう努力しています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人 材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 個人の資質や個性を尊重し合うとともに、その向上に向けて努力できる人間関係を大切にできるように職員の配置を決めています。 • 職員からの相談や要望は随時受け入れるとともに、年に2回(秋と年明けに実施)の職員面談の機会をもっています。面談は、元理事長(理事)と園長が職員アンケートに基づき行っています。 • 年度初めに当年度の研修計画を立て、それにもとづき全体目標および個人目標をさだめ、目標に向かって努力できるようにしています。また、目標にもとづき年齢別クラス会議・職員会議・総括会議・園内外研修を実施してお互いに交流し資質向上を目指しています。 • 年度の終わりには、研修の成果と到達点および課題を明らかにしています。 • 職員と非常勤職員の組み合わせに配慮して業務にあっています。 • 職員間のコミュニケーションを図るため、各クラス代表および担当を決めて報告を行い、実態把握を共有できるようにしています。
<p>V-2 職員の技 術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 年度の終わりの総括会議で職員および園自体の自己評価をと反省を行っています。また、委託している心理カウンセラーからの評価・指導も受けいれています。 • 日常的には「保育日誌」により、月ごとには「月間計画」を立てる際に子どもの姿の分析を行うと同時に職員の自己評価を行い、その改善に努めるとともにその後の保育計画の作成に反映させています。 • 個人の自己評価を踏まえ全体として総括を行い、当園の理念や方針に沿って子どもも職員ものびやかに明日への希望がもてるようにしています。その内容は、要点をまとめ全体総会にて保護者等にも伝えています。
<p>V-3 職員のモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 経験・能力や習熟度に応じた目標を明文化し利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、職員にできるかぎり権限を委譲し使命感と責任をもてるようにしています。

<p>チベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> •また、年2回職員アンケートをとり、それに基づき職員の個別面談を実施して悩みや要望などを引き出し把握するようにしています。
--	---

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> •当園として守るべき法・規範・倫理とを明文化し職員に周知するとともに、経営については、社会保険労務士や税理士等の専門家に指導を受けて実施しており、経営状況は正確にクリーンに公開しています。また、専門家から社会の動きや情報もより速やかに届けられ学習しています。 •ゴミの減量化・リサイクル・省エネルギー・緑化の推進については、自然を愛し、省エネの精神を大切にする理念のもとに、日常保育のなかでその取り組みに努めています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> •理念・基本方針を重要文書として位置づけ、諸会議等を通して全職員で繰り返し確認するようにしています。「入園のしおり」「年度の保育課程」にも明文化されています。 •重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしています。行事の改革、就業規則の改定などは、実態に則し要望等も含めて決定し、重要な改革については総会や職員会議を通じて説明し理解を得るようにしています。 •「職員の自己評価票」の上部に立場ごとの具体的な目標を・役割を記載しています。また、各クラスの代表者が担当する子どもたちや職員の状態の把握に努め、その改善に向けて努力しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> •子どもたちを取り巻く社会状況をマスコミや専門誌、各種研修会等で学習したりして、そこで得られた知識・ノウハウを園の運営に活かすようにしています。 •中長期の事業の方向性を定めた計画を作成しています。経営そのものについては社会保険労務士や税理士等の専門家に業務委託をし、健全経営に努めています。また、園の運営を安心して引き継いでいけるよう、基礎固めをしながら幹部職員の次世代への交代を考慮しながら、その育成に力を注いでいます。

利用者家族アンケート

〔結果の特徴〕

◆実施方法

- ・ 保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- ・ 評価機関が設置した回収箱に各保護者が投函し、評価機関が回収。

◆配布数：64 回答数：57 回収率：89.1%

※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて91.2%で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と、「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合84.2%を超える保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が90%以上）は下記のとおりです。

○保育園の基本理念や基本方針について

- ・ あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか（91.2%）

○保育園のサービス内容について

- ・ 見学の受け入れ方については（93.0%）
- ・ 入園前の見学や説明など、園からの情報提供について（96.5%）
- ・ 園の目標や方針についての説明について（100.0%）
- ・ 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については（96.5%）
- ・ 保育園での1日の過ごし方についての説明について（94.7%）
- ・ 費用やきまりに関する説明について（96.5%）

○保育や行事の年間計画について

- ・ 年間の保育や行事についての説明には（93.0%）

○日常の保育内容について

「遊び」

- ・ クラスの活動や遊びについて（100.0%）
- ・ 子どもが戸外遊びを十分しているかについて（98.2%）
- ・ 園のおもちゃや教材について（96.5%）
- ・ 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について（100.0%）
- ・ 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについて（98.2%）
- ・ 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて（98.2%）

「生活」

- ・ 給食の献立内容について（98.2%）
- ・ お子さんが給食を楽しんでいるかについて（100.0%）
- ・ 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについて（98.2%）
- ・ お子さんの体調への気配りについて（93.0%）

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ 施設設備について（94.7%）
- ・ お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて（96.5%）
- ・ 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について（93.0%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・ 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について（91.2%）
- ・ 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について（91.2%）
- ・ 園の行事の開催日や時間帯への配慮について（92.2%）
- ・ 保護者からの相談事への対応について（91.2%）
- ・ 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については（98.2%）

○職員の対応について

- あなたのお子さんが大切にされているかについて（96.5%）
- あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて（100.0%）
- 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて（93.0%）

○保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか

- 総合満足度は（98.2%）

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）は下記の通りです。

○保育園の快適さや安全対策などについて

- 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については（24.6%）

◆自由意見について

○自由意見の大半は、保育園に対する御礼や感謝のコメントでした。一方で「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」や「園での子どもの様子をもう少し詳しく知りたい」などの要望がありました。

◆まとめ

○総合満足度は98.3%と極めて高くなっています。

○「日常の保育内容（「遊び」と「生活」）」と「お子さんが入園する時の状況（対応）」「職員の対応」についてに対する満足度が特に高く、子どもが楽しく充実した日々を過ごしていることを実感し、園に対する信頼と感謝の気持ちの表れと思われる。

利用者アンケート集計結果（おおぞらひまわり保育園）

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。（%）	よく知っている	まあ知っている	どちらかといえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	33.3%	57.9%	5.3%	3.5%	0.0%	0.0%
（付問） あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらかといえない	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答
	68.4%	15.8%	7.0%	0.0%	0.0%	8.8%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れ方については	42	11	1	0	3	0
	73.7%	19.3%	1.8%	0.0%	5.3%	0.0%
その他 入園前から見学や情報をもらうことができた。						
園の目標や方針についての説明については	37	20	0	0	0	0
	64.9%	35.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 ・詳しい情報を教えて頂けた。						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	39	16	1	1	0	0
	68.4%	28.1%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%

保育園での1日の過ごし方についての説明には	34	20	2	0	1	0
	59.6%	35.1%	3.5%	0.0%	1.8%	0.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	35	20	1	0	1	0
	61.4%	35.1%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事の説明については	25	28	2	0	2	0
	43.9%	49.1%	3.5%	0.0%	3.5%	0.0%
その他 ・ 年々行事が減っているが、それについての説明があまりない。						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	23	27	5	1	1	0
	40.4%	47.4%	8.8%	1.8%	1.8%	0.0%

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	36	21	0	0	0	0
	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	49	7	0	0	1	0
	86.0%	12.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
その他 ・ あまりしていないように思える。						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	34	21	2	0	0	0
	59.6%	36.8%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 ・ 満足だが、更新のタイミングはもう少し早く。						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	49	8	0	0	0	0
	86.0%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
遊びを通じて友だちや保育	43	13	0	0	1	0

者との関わりが十分もてているかについては	75.4%	22.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43	13	0	0	1	0
	75.4%	22.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
	給食の献立内容については	49	7	0	0	1
	86.0%	12.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
	その他 ・ 見本を毎日見られる。美味しそう。					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	45	12	0	0	0	0
	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	31	20	4	0	2	0
	54.4%	35.1%	7.0%	0.0%	3.5%	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	40	16	1	0	0	0
	70.2%	28.1%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	30	17	3	0	6	1
	52.6%	29.8%	5.3%	0.0%	10.5%	1.8%
	その他 ・ 本人の気持ちを大切にしてくれている。					
お子さんの体調への気配りについては	29	24	4	0	0	0
	50.9%	42.1%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	22	24	8	2	1	0
	38.6%	42.1%	14.0%	3.5%	1.8%	0.0%
	その他 ・ 軽傷に見えてもそうでないこともあるので、傷などは必ず確認して頂きたいと思います。 ・ 報告がない時もある。					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	28	26	3	0	0	0
	49.1%	45.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
お子さんが落ち着いて過ご せる雰囲気になっているか については	28	27	2	0	0	0
	49.1%	47.4%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 ・幼児クラスに関しては落ち着いて過ごせる環境とは言えない。						
外部からの不審者侵入を防 ぐ対策については	18	23	14	0	2	0
	31.6%	40.4%	24.6%	0.0%	3.5%	0.0%
その他 ・園周囲のフェンスが低くのり越えられそう。						
感染症の発生状況や注意事 項などの情報提供につい ては	23	30	4	0	0	0
	40.4%	52.6%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談な どによる話し合いの機会につ いては	28	24	2	0	3	0
	49.1%	42.1%	3.5%	0.0%	5.3%	0.0%
その他 ・年3回くらいあるといい。						
園だよりや掲示などによる、 園の様子や行事に関する情 報提供については	31	21	3	1	1	0
	54.4%	36.8%	5.3%	1.8%	1.8%	0.0%
園の行事の開催日や時間帯 への配慮については	28	24	4	1	0	0
	49.1%	42.1%	7.0%	1.8%	0.0%	0.0%
送り迎えの際、お子さんの様 子に関する情報交換につい ては	22	26	5	0	4	0
	38.6%	45.6%	8.8%	0.0%	7.0%	0.0%
その他 ・1日あったこと、子どもがどのように過ごしたかもう少し詳しく聞きたいです。						
お子さんに関する重要な情 報の連絡体制については	26	21	6	1	2	1
	45.6%	36.8%	10.5%	1.8%	3.5%	1.8%

保護者からの相談事への対応には	30	22	3	0	2	0
	52.6%	38.6%	5.3%	0.0%	3.5%	0.0%
その他 ・担任ひとりだけでなく、先生方全員で取り組んで頂きたい。						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	47	9	0	0	1	0
	82.5%	15.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	39	16	2	0	0	0
	68.4%	28.1%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	47	10	0	0	0	0
	82.5%	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	34	13	0	1	8	1
	59.6%	22.8%	0.0%	1.8%	14.0%	1.8%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	37	16	1	0	3	0
	64.9%	28.1%	1.8%	0.0%	5.3%	0.0%
その他 ・基本的に話しやすいが、夜は人手が少なく話しにくい時もある。 ・友達関係のような話し方をされることが時々ある。						
意見や要望への対応については	31	20	5	0	1	0
	54.4%	35.1%	8.8%	0.0%	1.8%	0.0%
その他 ・園の方針はこう！と要望をあまり答えてくれない。 ・以前は、真剣に受け止めてもらえなかったことが何度かある。						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—
総合満足度は	42	14	0	0	1	
	73.7%	24.6%	0.0%	0.0%	1.8%	

利用者本人調査（保育観察）

【0歳児】（12月13日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

保育室での様子を観察しました。あおやつを食べ終えて、保育室に戻ったところでした。一人の子は保育士にオムツを替えてもらっていましたが、おとなしくしていて、その表情から保育士を信頼して安心している様子が窺われました。服を着替え終わって保育士に絵本を読んでもらっている子もいました。絵本と保育士の顔を真剣なまなざしで見つめていました。その他の子どもたちは車やトーマスなどを床やソファの上で走らせたり、各々自由に遊びを楽しんでいました。我々調査員が入室すると何人かの子供がやって来ましたが、「誰だろう?」といった様子でこちらを見て怪訝な顔をしていました。

【1歳児】（12月13日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

食事の時間を観察しました。メニューは酢豚、カボチャ煮、磯部和え、ごはん、味噌汁で、スプーンを使って美味しそうに食べていました。スプーンを上手に使う子供もいれば、まだ不慣れでギコチナイ子もいろいろです。うまく食べられない子には保育士がついて手伝ってあげていました。話をしながら楽しそうに食べていましたが、まだ上手く食べることに一生懸命のようでした。

【2歳児】（12月13日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

食事の時間を観察しました。多目的ルームにテーブルを置き、椅子を並べてそこで食事を摂りました。メニューは酢豚、小松菜と大根の炒め物、味噌汁、ごはんで周りの友達と会話しながら楽しく食べていました。評価員の私に対して最初はやや怪訝な表情でしたが、すぐに話しかけてきて、名前、年齢、好きな食べ物、どこに住んでいるのかなど、矢継ぎ早に質問が来て答えに戸惑うこともありました。周りのことについていろいろ知りたいという知識欲や関心が急に大きくなっていることが強く感じられました。

【3歳児】（12月15日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

隣接する農道での遊びを観察しました。3歳児9名は、散歩に出掛け、ちょうど戻ってきところで5歳児が農道で凧揚げの練習をしていたので、それに合流しました。農道は園児たちが走り回り、凧揚げにも十分な広さがあり、遊びの環境には本当に恵まれています。5歳児は走るのも速く、凧はしっかり揚がっていましたが、3歳児はそれ程上手くはできません。そのうち5歳児が3歳児と一緒に教えながら凧を揚げるようになっていました。5歳児のお兄さん、お姉さんが上手に揚がっている姿に、頼もしさや憧れの目で見ているようでした。

〈子ども本人からの聞き取り〉

凧揚げで農道を一生懸命走っている子に「きつくない?」と聞くと、「少しきついけど平気だよ!」、「楽しいから」という答えが返ってきました。まさに、「疲れを知らない子どものように」でした。

【4歳児】（12月13日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

園庭での遊びを観察しました。斜面に設置されたすべり台で遊んでいました。勢いよく下まで滑った後、斜面を勢いよく駆け上がり、またすべり台の上に戻り、これを繰り返していました。4歳の子どもには決して緩やかとは言えない斜面を何度も駆け上がる体力には驚かされました。豊かな自然に恵まれ、その特徴をしっかりと活かした園庭で毎日思う存分走り回り、跳んだり跳ねたりすることでこんなに体力がつくのを目の当りにし、驚きと同時に褒めてあげたい気持ちになりました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

園舎に戻ってきた園児に「園庭が広くていいね!」という「ボール遊びや鬼ごっこ、なんでもいっぱいできるよ」と元気な答えが返ってきましたが、恵まれた環境を改めて感じました。

【5歳児】（12月13日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

食事の場面を観察しました。園舎建物の外部の木製ベランダにセットされたテーブル2つ（4歳児・5歳児）のうちの一つに案内され9人の5歳児の子どもと一緒に昼食をとりました。メニューは、酢豚、小松菜と大根のいため・味噌汁・七步づきのごはんでした。皆で楽しく話をしながら食べていました。話題は昨日の出来事やテレビで見た番組の話、家族の話など次々に変わります。いろいろなことに興味や関心があるのだろうと感じました。

周りの人に質問もしますが、自分の知っていることを周囲の人に教えてあげたいという欲求もしっかり芽生えていることが伺われました。箸の使い方も上手になり、スムーズに口に運んでいました。食べ方もいろいろでご飯、おかず、味噌汁を一口ずつ順番に食べる子どももいれば、おかずを先にほとんど食べ、その後にご飯を食べなくなってから味噌汁に移る子ども、食べ方は様々で、個性が感じられました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

「おじさんどこから来たの？」と園児に聞かれ「〇〇区っていうところだよ」と答えると、「お母さんの車で来たの？」「おじさんのお母さんはもういないよ」と答えると「えー、何で？」不思議そうな顔をしていました。

事業者コメント

認可園として現在地で独立して13年。

「子ども達の為の最善の施設を！」のその一心で無我夢中で走りぬけてきた年月。まずは「評価」を意識することより、子ども達の今と向き合い、私たちはどうあるべきかを学習し、丁寧に対応していきたい、そんな思いで受審を見合わせてきた。ようやく形が見えてきて、今回受審を決意し、提供された視点（評価項目）から当園の実態を職員と確認、分析する作業を行った。その工程の中で、新たな気づきや不足点は充実に向けて論議を重ね、評価として確認できたことは、これまでの労をねぎらい明日への意欲へと繋がってきた。また、中長期的計画をもつ重要性も良いタイミングで課題としてお示し頂き、大変貴重な機会になった。

“子ども達の為にをまず第一に”という当園の思いを、温かい視点で見守り、導いてくださった評価員の皆様に心からお礼を申し上げます。

また、日々共感したり、時にハラハラしたりしながら支えてきて下さった保護者の皆様からの温かいアンケートの結果にも感謝しながら、これからも子ども達の為に保護者の皆さんと職員が一丸となって学習を深め、喜び合い、支え合い、本音が語り合える関係を大切にしながら、優しく温かい保育園を創造していきたいと思えます。

皆様、お忙しい中ご協力を頂きありがとうございました。

おおぞらひまわり保育園